

4 橋梁

4.1 施設一覧の見方

【施設一覧】

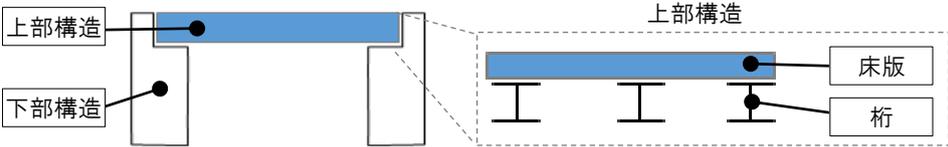
① 新四谷見附橋			
所在地	千代田区六番町		
竣工年	1925年	橋梁の種類	① 桁橋
橋長	38.90m	構造	② 鋼橋
幅員	17.80m	路線名	千第816号
面積	692.42㎡	交差物件	JR中央本線
備考	-		
橋の歴史等	③ 谷見附橋が架かる場所は江戸時代、江戸城外郭門の一つ四谷門のあった所であり、寛永年間(1624~1644)に始められた橋といわれています。橋を渡る右手前(千代田区側)には、四谷門の桁形の石垣の一部が残されています。現在の橋は、大正14年(1925)10月25日に架設され、この橋と市ヶ谷橋との間の市ヶ谷濠は、新四谷見附橋寄り約半分が埋め立てられ、外濠総合グラウンドその他になっています。		



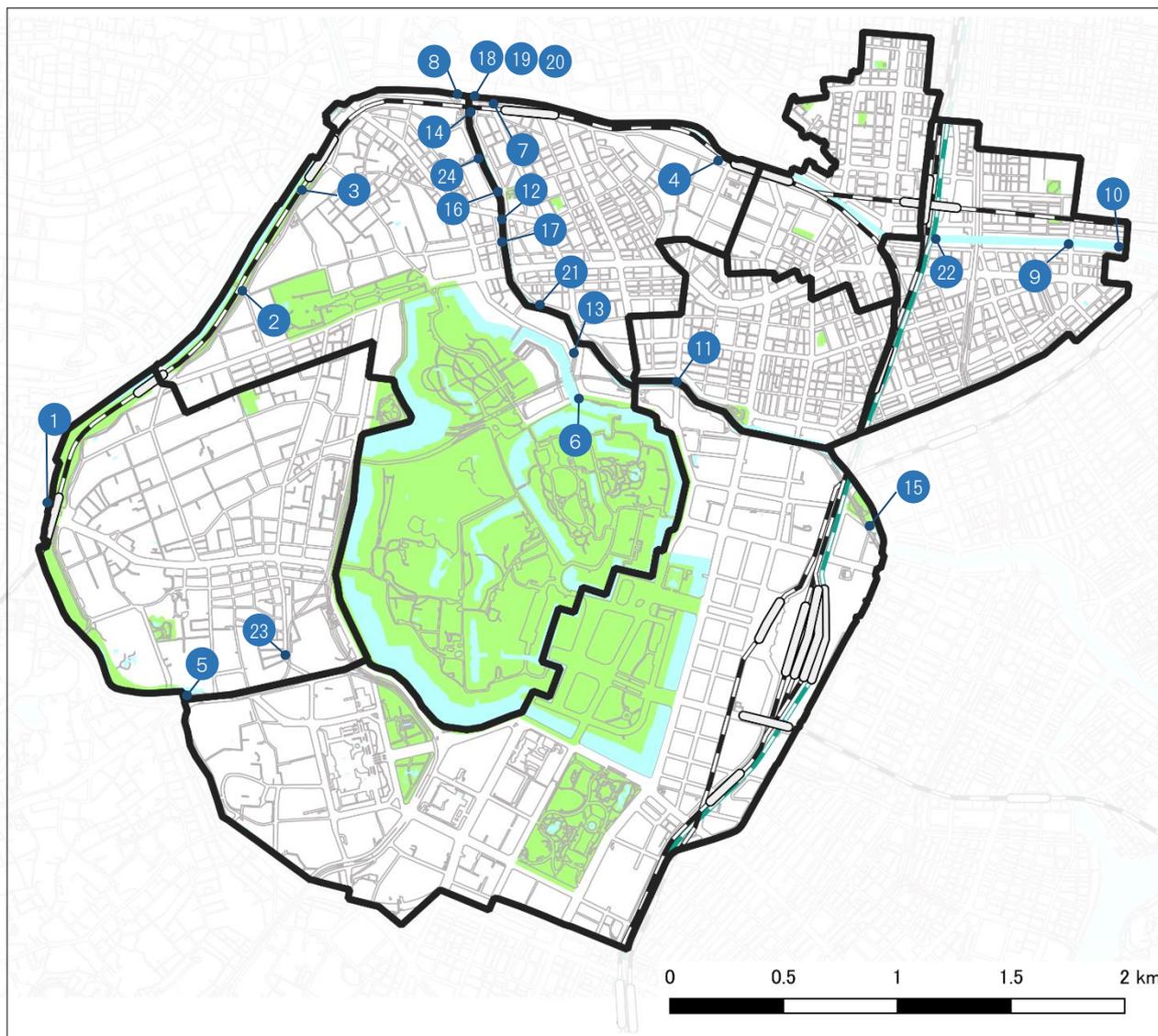
【項目の説明】

令和6年3月時点の情報

※ 掲載する橋梁は道路橋のみを対象とし、横断歩道橋は含んでいません。

NO	項目	凡例や内容等
①	橋梁の種類	<ul style="list-style-type: none"> 橋の形式による分類です。 【凡例】 <ul style="list-style-type: none"> 桁橋：下部構造の上に桁をかけ渡したシンプルな形式の橋 床版橋：桁と床版が一体構造となっている橋 アーチ橋：弓なりの形状（アーチ）によって構成される構造の橋 
		【出典】 <ul style="list-style-type: none"> 「千代田区長寿命化修繕計画 第2回改定版 (R4.3)」の情報を基に、より平易な表現に改め、各凡例の内容についても本書にて追記しました。
②	構造	<ul style="list-style-type: none"> 橋の主要部分を形作る使用材料による分類です。 【凡例】 <ul style="list-style-type: none"> 鋼橋：主要部材に鋼を用いた橋 PC橋：主要部材にプレストレスコンクリートを用いた橋 <ul style="list-style-type: none"> ※ プレストレスコンクリートとは、あらかじめ圧縮する力を与えられたコンクリートのことであり、これによりひび割れを生じさせない構造としたり、ごくわずかのひびわれ幅に制御することが可能となります。 RC橋：主要部材に鉄筋コンクリートを用いた橋
		【出典】 <ul style="list-style-type: none"> 「千代田区長寿命化修繕計画 第2回改定版 (R4.3)」の情報を掲載しています。なお、各凡例の内容については本書にて追記しました。
③	橋の歴史	【出典】 <ul style="list-style-type: none"> 区のホームページ「千代田区景観まちづくり重要物件」の「歴史・文化的特徴」の文章を一部編集して掲載しています。「千代田区景観まちづくり重要物件」に指定されていない橋梁については、千代田区観光協会ホームページの情報から、一部編集して掲載しています。

4.2 施設一覽



NO	橋梁名称	NO	橋梁名称
①	新四谷見附橋	⑬	雉子橋
②	新見附橋	⑭	新三崎橋
③	牛込橋	⑮	常盤橋
④	お茶の水橋	⑯	新川橋
⑤	弁慶橋	⑰	南堀留橋
⑥	竹橋	⑱	三崎橋(車道)
⑦	後楽橋	⑲	三崎橋(上流歩道)
⑧	小石川橋	⑳	三崎橋(下流歩道)
⑨	美倉橋	㉑	宝田橋
⑩	左衛門橋	㉒	神田ふれあい橋
⑪	錦橋	㉓	隼町無名橋
⑫	堀留橋	㉔	あいあい橋

① 新四谷見附橋			
所在地	千代田区六番町		
竣工年	1925年	橋梁の種類	桁橋
橋長	38.90m	構造	鋼橋
幅員	17.80m	路線名	千第816号
面積	692.42㎡	交差物件	JR中央本線
備考	-		
橋の歴史等	<p>新四谷見附橋が架かる場所は江戸時代、江戸城外郭門の一つ四谷門のあった所であり、寛永年間(1624~1644)に始めて架けられた橋といわれています。橋を渡る右手前(千代田区側)には、四谷門の枡形の石垣の一部が残されています。現在の橋は、大正14年(1925)10月25日に架設され、この橋と市ヶ谷橋との間の市ヶ谷濠は、新四谷見附橋寄り約半分が埋め立てられ、外濠総合グラウンドその他になっています。</p>		



② 新見附橋			
所在地	千代田区富士見二丁目		
竣工年	1929年	橋梁の種類	桁橋
橋長	20.85m	構造	鋼橋
幅員	13.40m	路線名	千第258号
面積	279.39㎡	交差物件	JR中央本線
備考	-		
橋の歴史等	<p>新見附橋は、明治中頃、旧麹町区と旧牛込区の住民の行き来の便宜を図るため、外濠の牛込橋と市ヶ谷橋の中間点を埋め立てて造られた橋梁です。その結果、外濠は二つに仕切られ、下流の牛込橋寄りには牛込濠、上流の市ヶ谷橋寄りには新見附濠と呼ばれるようになりました。現在の橋は昭和4年(1929)7月6日の架橋されたものです。</p>		



③ 牛込橋			
所在地	千代田区飯田橋四丁目		
竣工年	1996年	橋梁の種類	桁橋
橋長	46.00m	構造	鋼橋
幅員	15.10m	路線名	千第270号
面積	694.60㎡	交差物件	JR中央本線
備考	-		
橋の歴史等	<p>牛込橋は、江戸城外郭門の一つ牛込門のあった所にあり、今でも橋の手前(千代田区側)の左側に枡形の石垣の一部が残っています。外濠の水はいったんここでせき止められ姿を消すため、この橋は陸橋のようにも見えます。現在の橋は平成8年に架け替えられたものです。</p>		



④ お茶の水橋			
所在地	千代田区神田駿河台二丁目		
竣工年	1931年	橋梁の種類	桁橋
橋長	80.00m	構造	鋼橋
幅員	23.00m	路線名	千文第3号
面積	1,840.00㎡	交差物件	JR中央本線・神田川
備考	千代田区景観まちづくり重要物件		
橋の歴史等	<p>お茶の水橋が架かる場所は神田川随一の渓谷地であり、東京府技師・原竜太設計の旧橋(上路トラス橋)は東京名物となっていました。御茶ノ水の名称は徳川家康が茶の水を求めた高林寺の逸話に基づいており、橋名もこれに由来しています。関東大震災の復興橋梁のひとつです。</p>		



⑤ 弁慶橋			
所在地	千代田区紀尾井町		
竣工年	1985年	橋梁の種類	桁橋
橋長	41.00m	構造	PC橋
幅員	22.00m	路線名	千第189号
面積	902.00㎡	交差物件	弁慶濠
備考	千代田区景観まちづくり重要物件		
橋の歴史等	弁慶橋は、紀州藩屋敷跡地から弁慶濠に架かる橋として1889(明治22)年に初めて架けられました。周辺は桜の名所でもあり、旧橋は江戸名所図絵にも紹介されています。1911(明治44)年に改架された後、1927(昭和2)年に震災復興橋梁として改架されました。更に、1945(昭和20)年5月25日の山手大空襲で高欄が焼失しましたが、1950(昭和25)年に高欄が復旧されました。その後、1985(昭和60)年11月に改架され、現在に至ります。		



⑥ 竹橋			
所在地	千代田区北の丸公園		
竣工年	1926年	橋梁の種類	アーチ橋
橋長	49.97m	構造	RC橋
幅員	22.74m	路線名	千第229号
面積	1,136.32㎡	交差物件	清水濠
備考	-		
橋の歴史等	竹橋門は、1620年(元和6年)、仙台藩(現在の宮城県)藩主伊達政宗ほか6名の大名によって築造されました。門の名は竹で編んだ橋が最初に架かっていたことに由来します。この門は、北の丸の東の出入りにあたり、山王社(現、日枝神社)と神田明神(神田神社)の天下祭りの山車行列は、この門を通過しました。竹橋門の石垣の多くは撤去されていますが、この門の脇から平川門に通ずる帯曲輪という通路や濠石垣は良好に残っています。1926年(大正15年)に帝都復興事業で架設された現在の橋は、ほぼ江戸時代の橋の位置に架けられています。		



⑦ 後楽橋			
所在地	千代田区神田三崎町三丁目		
竣工年	1927年	橋梁の種類	アーチ橋
橋長	20.61m	構造	鋼橋
幅員	22.56m	路線名	千文第2号
面積	464.96㎡	交差物件	神田川
備考	千代田区景観まちづくり重要物件		
橋の歴史等	橋名は近くにある小石川後楽園に由来しており、関東大震災の復興橋梁のひとつです。		



⑧ 小石川橋			
所在地	千代田区飯田橋三丁目		
竣工年	2012年	橋梁の種類	床版橋
橋長	29.70m	構造	鋼橋
幅員	14.00m	路線名	千第315号
面積	415.80㎡	交差物件	神田川
備考	-		
橋の歴史等	小石川橋は、江戸時代の小石川門があった所にあり、明治5年(1872)に城門を撤去して木橋として架けられたものです。明治28年(1895)に甲武鉄道の飯田町駅が近くにできたため、同年、橋を修繕し利用者の増加に備えました。昭和2年(1927)に鋼橋として架け替えられましたが、老朽化のため、平成24年に改修されています。		



⑨ 美倉橋			
所在地	千代田区神田佐久間河岸		
竣工年	1929年	橋梁の種類	アーチ橋
橋長	35.36m	構造	鋼橋
幅員	23.32m	路線名	千第789号
面積	824.60㎡	交差物件	神田川
備考	千代田区景観まちづくり重要物件		
橋の歴史等	橋の近くに3棟の蔵があったことから、この名前がつけられたという説がありますが、詳しいことはわかりません。橋詰には、この伝承に由来する蔵造り風の公衆トイレが建てられています。関東大震災の復興橋梁のひとつです。		



⑩ 左衛門橋			
所在地	千代田区東神田三丁目		
竣工年	1930年	橋梁の種類	アーチ橋
橋長	35.36m	構造	鋼橋
幅員	15.60m	路線名	千台第1号
面積	551.62㎡	交差物件	神田川
備考	千代田区景観まちづくり重要物件		
橋の歴史等	慶長年間(1598~)からこの地に居を構えていた酒井左衛門尉(さえものじょう)にちなみ、一帯が「左衛門河岸」と呼ばれていたことが、橋名に由来します。関東大震災の復興橋梁のひとつです。		



⑪ 錦橋			
所在地	千代田区神田錦町三丁目		
竣工年	1926年	橋梁の種類	アーチ橋
橋長	33.75m	構造	RC橋
幅員	24.31m	路線名	千第101号
面積	820.46㎡	交差物件	日本橋川
備考	千代田区景観まちづくり重要物件		
橋の歴史等	関東大震災の復興橋梁として1926(大正15)年に架けられました。橋名は近隣の町名に由来しています。		



⑫ 堀留橋			
所在地	千代田区九段北一丁目		
竣工年	1926年	橋梁の種類	アーチ橋
橋長	28.30m	構造	RC橋
幅員	34.98m	路線名	千第303号
面積	989.93㎡	交差物件	日本橋川
備考	千代田区景観まちづくり重要物件		
橋の歴史等	江戸中期から1903(明治36)年まで外濠の堀留であった場所に位置していることが、橋名に由来します。関東大震災の復興橋梁のひとつです。		



⑬ 雉子橋			
所在地	千代田区一ツ橋二丁目		
竣工年	1925年	橋梁の種類	アーチ橋
橋長	32.16m	構造	鋼橋
幅員	28.70m	路線名	千第319号
面積	922.99㎡	交差物件	日本橋川
備考	千代田区景観まちづくり重要物件		
橋の歴史等	雉子橋は、関東大震災の復興橋梁として現在の位置に架けられましたが、それ以前はやや上流側に架けられていました。現在も旧橋台の跡を日本橋川右岸の護岸に見ることができます。		



⑭ 新三崎橋			
所在地	千代田区飯田橋三丁目		
竣工年	2001年	橋梁の種類	桁橋
橋長	28.30m	構造	鋼橋
幅員	11.20m	路線名	千第316号
面積	316.96㎡	交差物件	日本橋川
備考	-		
橋の歴史等	新三崎橋は、大正15年(1926)11月24日に、神田川と日本橋川の分流点にある三崎橋より50mほど下流に架けられ、三崎橋の近くに後からできたことからこの橋名が付けられました。		



⑮ 常盤橋			
所在地	千代田区大手町二丁目		
竣工年	1926年	橋梁の種類	アーチ橋
橋長	41.46m	構造	RC橋
幅員	27.71m	路線名	千第104号
面積	1,148.86㎡	交差物件	日本橋川
備考	千代田区景観まちづくり重要物件		
橋の歴史等	常盤橋は、関東大震災の復興事業で大手町と日本橋本石町をつなぐ重要な路線として架橋された橋です。上流の旧常盤橋は架け替えることなく保存され、常盤橋として新たに設置されました。橋詰めには御門跡が残り、渋沢栄一像が建てられています。		



⑯ 新川橋			
所在地	千代田区飯田橋二丁目		
竣工年	1927年	橋梁の種類	桁橋
橋長	27.00m	構造	鋼橋
幅員	11.36m	路線名	千第302号
面積	306.72㎡	交差物件	日本橋川
備考	千代田区景観まちづくり重要物件		
橋の歴史等	関東大震災の復興事業により新たに架けられた震災復興橋梁です。小さな橋詰広場が併設されています。		



⑰ 南堀留橋			
所在地	千代田区九段北一丁目		
竣工年	1928年	橋梁の種類	桁橋
橋長	26.40m	構造	鋼橋
幅員	11.54m	路線名	千第307号
面積	304.66㎡	交差物件	日本橋川
備考	千代田区景観まちづくり重要物件		
橋の歴史等	関東大震災の復興橋梁のひとつです。堀留橋の南に架けられたことから、この橋名が付けられました。		



⑱ 三崎橋(車道)			
所在地	千代田区飯田橋三丁目		
竣工年	1954年	橋梁の種類	桁橋
橋長	27.00m	構造	鋼橋
幅員	7.60m	路線名	千第287号
面積	205.20㎡	交差物件	日本橋川
備考	-		
橋の歴史等	明治の日本橋川再掘削にともない架橋されましたが、現在の橋は昭和29年(1954)3月3日に改架されました。		



⑲ 三崎橋(上流歩道)			
所在地	千代田区飯田橋三丁目		
竣工年	1987年	橋梁の種類	桁橋
橋長	33.60m	構造	鋼橋
幅員	2.26m	路線名	千第287号
面積	75.94㎡	交差物件	日本橋川
備考	三崎橋(車道)に併設されている歩道専用橋		
橋の歴史等	-		



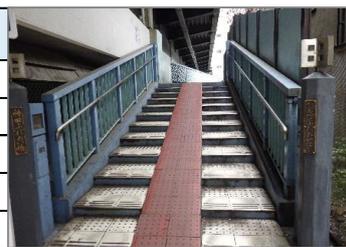
⑳ 三崎橋(下流歩道)			
所在地	千代田区飯田橋三丁目		
竣工年	1987年	橋梁の種類	桁橋
橋長	33.60m	構造	鋼橋
幅員	1.80m	路線名	千第287号
面積	60.48㎡	交差物件	日本橋川
備考	三崎橋(車道)に併設されている歩道専用橋		
橋の歴史等	-		



⑳ 宝田橋			
所在地	千代田区神田神保町三丁目		
竣工年	1968年	橋梁の種類	桁橋
橋長	27.00m	構造	鋼橋
幅員	8.20m	路線名	千第314号
面積	221.40㎡	交差物件	日本橋川
備考	-		
橋の歴史等	昭和4年(1929)10月に木橋として初めて架けられました。現在の橋は、昭和43年(1968)12月に架設されたものです。		



㉑ 神田ふれあい橋			
所在地	千代田区神田佐久間町一丁目		
竣工年	1989年	橋梁の種類	桁橋
橋長	81.58m	構造	鋼橋
幅員	2.60m	路線名	千第823号
面積	212.11㎡	交差物件	神田川
備考	-		
橋の歴史等	JR東北新幹線の工事用の橋でしたが、地元の要望により工事完了後も撤去しないで、平成元年(1989)4月から歩道橋として供用されています。神田須田町二丁目と神田佐久間町一丁目を結んでおり、それまで遠回りしなければ行き来できなかった両地区の住民が、直接往来できることになったことから、親しみをこめて「神田ふれあい橋」と命名されました。		



㉒ 隼町無名橋			
所在地	千代田区隼町		
竣工年	1963年	橋梁の種類	桁橋
橋長	13.10m	構造	鋼橋
幅員	7.00m	路線名	千第169号
面積	91.70㎡	交差物件	首都高4号線
備考	-		
橋の歴史等	-		



㉓ あいあい橋			
所在地	千代田区飯田橋三丁目		
竣工年	2001年	橋梁の種類	桁橋
橋長	35.30m	構造	鋼橋
幅員	3.80m	路線名	千第843号
面積	134.14㎡	交差物件	日本橋川
備考	-		
橋の歴史等	あいあい橋は、平成12年度から始まった旧JR飯田町貨物駅跡地の再開発に伴い、かつて新飯田橋が架かっていた日本橋川に平成14年2月5日に架橋されました。		

